

心肺蘇生法を学習して



射水市立小杉中学校 第2学年 平成30年7月5日実施



射水市医師会の医師や看護師、射水消防署から所員、消防団員の方々を講師に迎え、心肺蘇生法講習会を行いました。命の大切さや救急車が来るまでの応急手当の手順を、実習人形やAEDトレーナーを使って学びました。全員が実際に心肺蘇生法を体験しました。



射水市医師会 木田会長



ロータリークラブ 中村会長



射水消防署の講習



私が今日の講習会を終えて大切だと思ったことは、救急車が来るまでの時間に胸骨圧迫と人工呼吸、AEDの処置をすばやく行うことです。この行動を行うと、人の助かる確率が2倍も上がることが分かりました。倒れている人を見つけたら、まず周囲の安全を確認し、次に意識の確認をし、他の人を呼び、119番通報やAEDを持って来てもらう。次に胸骨圧迫、人工呼吸、AEDを使用することがすばやくできるといいと思いました。また、意識の確認を行う時に、いきなり大きな声で強く肩を叩くと、ただ寝ているだけの人もいるかもしれないので、始めは優しく確認することが大切だと分かりました。この経験を、これからの生活に生かしたいと思いました。 (女子)

心肺蘇生をするときは、勇気と技術が必要だと分かりました。勇気では人がつらそうなときに、迷わないで行動に移すことがとても大切だと分かりました。技術では、胸骨圧迫をするときの手の組み方、押す所、押す強さ等を学び、人工呼吸のときに気道を確保して行うことも、AEDの使い方も学びました。これからは、つらそうな人だけでなく、困っている人に積極的に声をかけていきたいです。 (男子)



今日の講習で、とても貴重な経験をすることができました。大切だと思ったことは、すぐに判断して、多くの人との連携をとることです。もし、人が倒れているという状況になっても、勇気を出して行動したいです。また、大きな声を出すことも忘れずにしたいです。今日の講習では、小さい声でもじもじしている人が多かったと思いますが、いざというときにはしっかり大きな声を出していきたいです。 (男子)

手順が難しく、最初はよく分からなかったけど、他の人がやるのを見ながら自分もやってみることで、だいたい分かるようになったので良かったと思います。実際に倒れている人がいたら、心肺蘇生法をするのはとても勇気がいることだと思うけれど、今日のことを生かし、人の命を救える人間に成りたいです。「普段どおりの呼吸なし。」と言うことで、自分自身を落ち着かせるということが印象に残りました。
(女子)



5 cm位を意識して胸骨圧迫をするということを初めて知りました。他にも、速さは1分間に100~120回を絶え間なくやるなど、細かなことも教えてもらいました。今までよく分からなかったAEDについても、たくさん知ることができて、今後の生活の上で役立つことが増えました。
(男子)



AEDは心臓をマッサージする機械だと思っていたけど、使ったことはなかったので、とても印象に残る日になりました。人工呼吸は、みんな普通嫌がるけど、積極的に命を助けられるなら頑張りたいと思いました。この経験は一生使えるし、命を助ける大事なAEDの使い方も分かったので、とても良かったです。
(男子)



今日の講習会では、心肺蘇生の行い方を学びました。心臓や呼吸が止まったときにすぐに心肺蘇生ができるように、実際に順番や、やり方を確認しながら実践しました。また、AEDの使い方も学びました。実際に心肺蘇生法やAEDを使うときがあったら、すぐに周りの人を呼んで、冷静な判断ができたらいいと思いました。講習会で学んだことは、必ず役に立つことだと思うので、今日学んだことを忘れずにしっかり覚えておきたいです。
(女子)

